

第2章 青梅線

第1節 7月26日(土): 奥多摩～青梅

奥多摩(11:05)～白丸～鳩ノ巣～古里(13:40)～川井～御嶽(15:05)～沢井～軍畑～
二俣尾(16:18)～石神前～日向和田～宮ノ平(17:30)～青梅(18:00)

2003年7月25日(金)は大雨のため、本日26日のウォーキングは中止の予定だった。しかし、6時半に起床したところ、薄日がさし目標2,000Kmの金字塔に1日でも早くクリアするため、急遽ウォーキングすることを決意した。出発が遅くなったため、外房線の「安房鴨川＝勝浦間」から、青梅線の「奥多摩＝青梅間」に変更することとした。

休みの日課である愛犬セブンの散歩を済ませてからの出発となったため、自宅を8時40分となった。立川を10時9分の青梅行きに乗る。終点青梅駅で運良く10時43分の奥多摩行きの電車(隣ホーム)に乗り継ぐことができた。青梅からの電車は、4両編成で行楽用の絵柄であった。また、乗り合わせた先頭車両は、進行方向に対し、左側の椅子が面白いことに、窓の方向に向く仕掛けであり、4対のシート(座る人がいないと自動的アップ)が3箇所があり、窓側にはテーブルが固定されていた。ピクニック気分の味わいと多摩川や対岸の山々の景観を楽しめることの工夫が推察できた。



※奥多摩駅、白丸駅

青梅駅からは単線となっていた。11時15分に奥多摩駅に着くとこの駅アナウンスがあった。線路は多摩川に沿って、この川を挟んだ山間を縫って奥多摩駅に続いていた。二俣尾駅と古里駅で上り電車と離合した。川井駅でつり橋が見えて来た。軍畑（いくさばた）という面白い駅名にも対面した。鳩ノ巣駅から奥多摩駅にかけて、数個の100m位のトンネルを通過した。

奥多摩駅には予定通り11時15分に到着。この駅前で代表するように、農作物の即売が沿道至る所で見かけた。駅前の観光センターで奥多摩＝川井間の散策マップをもらい、本日のコースに挑戦することとする。青梅駅辺りで薄日がさして来たにもかかわらず、奥多摩駅ではすっかり曇り空になっていた。奥多摩湖に近いただけあり、昭和橋と海沢橋から見える川の景観は素晴らしかった。昨日の大雨の影響により川は濁っていた。本来ならば、極力散策マップに則り歩こうと思ったが、私の歩きで重視している対面駅の記念写真が困難な箇所もあり、散策マップに従う歩きにはならなかった。



※鳩ノ巣駅、古里駅

それで、海沢橋からは国道411号線をメインとするウォーキングとなった。青梅駅までは国道411号とJR線は平行して走っていた。珍しいことに、青梅駅に向かって、国道411号を基準とすると、左手側にJR線、右手側に多摩川があり、国道411号線を歩く限り道に迷う心配はなかった。また、本日のコースは、奥多摩駅＝青梅駅間18.7Kmの間に白丸、鳩ノ巣、古里、川井、御嶽（みたけ）、沢井、軍畑、二俣尾、石神前、日向和田、宮ノ平と11個の駅があり、JR線では珍しい位駅数があった。歩き易い反面、駅踏破記念写真を撮るのに骨が折れた。御嶽駅は神社の風格を備えた駅で、本日走破した駅の中で、奥多摩駅、青梅駅を除き唯一無人駅でなかった。白丸駅、鳩ノ巣駅、古里駅、川井駅、軍畑駅は、国道411号から30mから300m位高いところに駅があり、駅確認作業に骨が折れた。特に、20度もある感じの急な斜面を300m位登ったところのにある軍畑駅は印象的だった。駅名から創造できる通り、ここからの眺めは最高で駅名の謂れがわかるような気がする。また、鳩ノ巣駅と古里駅の洗面所は、最近できたのか

檜の香りがした。



※川井駅、御嶽駅



※御嶽駅界限、沢井駅

昼食は、鳩ノ巣駅前の「釜飯屋」で手打ちそばを 12 時 50 分食べる。古里駅には 13 時 40 分到着。この駅から国道 411 号と異なる吉野街道を歩き、多摩川を渡る。この街道に出るや否やにわか雨に遭う。川井のつり橋を通り再び国道に戻る。つり橋の近郊には、バンガロがあり、夏本番から程遠い天候にもかかわらず子供連れを中心としたグループが宿泊の準備をしていた。また、ゴムボートに乗り余暇を楽しむ若者もいた。雨は御嶽駅に着く頃（15 時 5 分）には止み、薄日がさしてきた。御嶽駅近郊で、ゆず料理・ゆず風呂をキャッチフレーズにした「勝仙閣」（0428-78-8221）があった。このような看板を見かけると国道 411 号線にいるにもかかわらず、あたかも箱根路にいるような錯覚をした。二俣尾駅には 16 時 18 分到着。この駅を通過しようとしたところ、今年 NHK 大河ドラマ「宮本武蔵」原作の吉川英治館の案内板を運良く見つけ、奥多摩大橋を渡り、国道と対岸の吉野街道沿いにある会場に向かう。吉川英治作品は三国志でも読ませてもらった。しかしながら、3 分位遅れ（16 時半閉館）、英治館に入れず。それで、門が開いた瞬間咄嗟に係員に頼み、何とか館内の写真だけ撮らしてもらう。人形の主は

確認できなかったが、三国志で登場する有名な人物（玄徳か孔明かそれとも曹操か）が飾られていた。この館内と目と鼻の先に私の故郷を思い出させてくれる讃岐うどん屋があった。



※軍畑駅、二俣尾駅



※石神前駅、日向和田駅



※宮ノ平駅

吉野氷川線歩道を通り、青梅市立西中学校、神代橋経由で国道 411 号に戻る。橋を渡ると丁度、日向和田駅であった。時計を見ると 17 時 10 分だった。宮の平駅には 17 時

半、今日の終着駅には 18 時に着く。18 時 6 分の電車で家路に向かう。立川駅近郊では今日花火大会があるのか、浴衣姿の若い女性を幾人も見かけた。登戸駅前で「悲しき雨音」(カスケーズ)の懐メロが聞こえてきたので、本日のウォーキングの記念に CD アルバム (ロマンティック・ラヴ) を購入する。今後、このアルバムをウォーキングしながら聞くのが楽しみである。自宅には 20 時 18 分に到着する。本日の成果は、49,075 歩だった。



※青梅駅



青梅駅界限

第2節 9月15日(月):青梅～拝島 晴れ

青梅(9:40)～東青梅(11:20)～河辺(11:50)～小作(12:20)～羽村(13:00)～
福生(14:05)～牛浜(14:23)～拝島(14:55)

鉄道 3,000Km挑戦への第1歩は、2003年9月15日(月)、敬老の日となった。本来ならば、昨日の日曜日に青梅駅＝拝島駅間 11.6Kmに挑戦すべきところ、昨日は9月13日の高松一高幹事会の会計整理に追われ、本日となった。9時前に自宅を出て、登戸駅経由で青梅駅に向かう。

電車のダイヤに恵まれ、青梅駅には9時49分に到着。駅前で小生の幼少時代よく見かけた懐かしき「ボンネット付西東京バス」に巡りあい感激した。暫く行くと、今度は懐かしい映画の看板を目にする。大川橋蔵主演の「銭形平次」や「新吾十番勝負」の他、市川雷蔵主演の「大菩薩峠」、嵐寛寿郎主演の「右門捕り物帖」、片岡千恵蔵主演の「大菩薩峠第二部」が目についた。また、シェーンなどの外国映画の看板もあった。

青梅はマラソンで有名なだけあり、練習中の何人かのマラソンランナーと対面する。勝沼第一踏切、東青梅第二踏切を通過し、11時28分東青梅駅に到着。本日は、拝島駅までの11.6Kmの中に、6駅の登場があり写真撮影で忙しかった。前回の一駅が9Km強もある横須賀線シリーズと対照的であった。東青梅駅から次の河辺(かべ)駅までは奥多摩街道を歩く。途中、11時40分、青梅マラソンスタート地点を通過する。



※東青梅駅。青梅マラソン



※河辺駅、小作駅

河辺駅には、11時50分到着。今日は、暑い日差しであったと思うが、真夏の暑さとはどこか違う感じであった。東青梅駅かもしくは河辺駅を過ぎた辺りからいつの間にか、単線から複線になっていた。青梅市立河辺小学校を12時通過。河辺駅からは鉄道に沿い歩く。小作（おざく）駅には、12時20分到着。小作駅辺りで昼食にしようと思ったが、店が見当たらず、先に進む。間坂第一踏切と学校通踏切を通り、羽村駅には13時到着。羽村駅を少し行ったところで、讃岐うどんの看板（一心）を目にし、その店に入る。主は兵庫県の出身とのことであった。4人がけのテーブル2個と5人がけのカウンターしかない、小さい店だったが、味はなかなかのものだった。ざるうどんの大盛り（500円）を注文する。安くて、味が美味しく、この店の電話番号（042-555-6613）を控える。



※羽村駅、福生駅

30分間の休憩後、福生駅（14時5分）を目指す。駅前には、福生の地名の謂れの掲示板があった。一説では、「麻のフサ」からとったとあった。牛浜駅には、14時23分に到着する。牛浜駅を少し過ぎたところで、五日市線の踏切を渡り、五日市線のつたい歩きで、拝島駅に到達。14時55分だった。15時5分の八王子駅行きで自宅に向かう。運良く、八王子駅では桜木町行

きの快速に乗ることができ、自宅には 16 時 35 分に到着。町田でお腹が空いたので、マックで軽食を取る。自宅での万歩計は 26,823 歩だった。本日は、鉄道に沿った道があり、距離もなく平坦でつたい歩きするのにはやさしかった。本日で奥多摩駅＝拝島駅間を踏破。本日は、阪神タイガースの優勝記念日となった。



※牛浜駅、羽馬駅

第 3 節 8 月 18 日（土）： 拝島～立川

拝島～昭島～中神～東中神～西立川～立川

2001 年 8 月 18 日（土）、第 3 章第 1 節で記載のため割愛。



※昭島駅、中神駅



※東中神駅（当時と最近の駅舎）



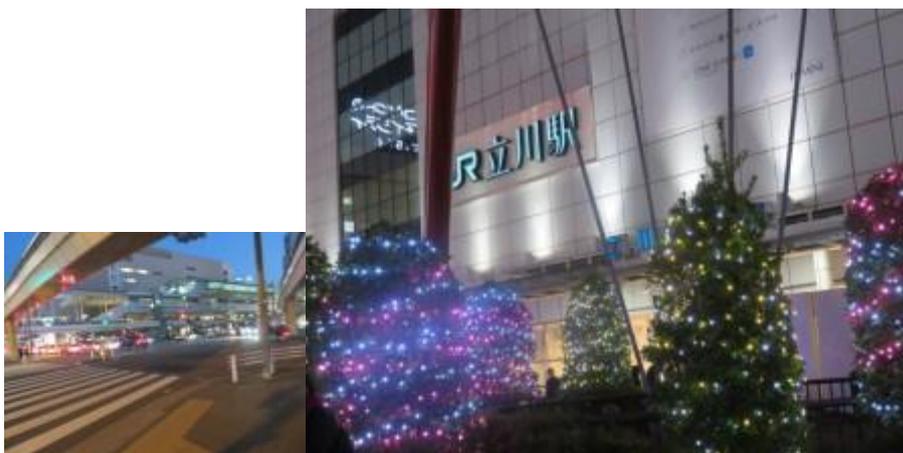
※西立川駅、西立川駅への路



※立川駅

第4節 青梅線リベンジ

青梅線（拝島～立川）リベンジは2021年12月24日（金）第3章第2節で記載のため割愛。



※遠くに伊勢丹、立川駅